令和5年度 財政状況資料集

総括表(市町村)

	都道府県名	<u> </u>	阪府	市町	J村類型	孙 会均	定都市	指定団体等	の指定状況	区分 歳入総額	令和5年度(千円) 1,975,047,180	令和4年度(千円) 1,938,280,969	区分 宇質収支比率		令和5年度(千円·%) 1.8	令和4年度(千円·% 3.
	即 起的 未石		9久/19	رهراا	117.模主	םניו איי			l x	歳	1, 951, 351, 019	1, 906, 782, 922			92. 0	92
		+						財源超過	×		23, 696, 161	31, 498, 047	(※1)		(92. 9)	(94.
	市町村名		阪市	- 地士六	· 付税種地	1_	-10	首都	×	■ ■翌年度に繰越すべき財源	7, 263, 502		標準財政規模		889, 351, 675	872, 042, 4
	미비비치선	^	נון אַעּן	地方文	门机性地	-	10	近畿	×	4	16, 432, 659	25, 772, 960			0. 92	0.
		人和0 左回到 / 1	0.750.410							実質収支						
		令和2年国調(人		-	**	₩ ₩ /*/		中部	×	■単年度収支 ■ ままへ	-9, 340, 301		公債費負担比率		17. 6	15
	人口	平成27年国調(ノ		4	圧	業構造(※5)		過疎	×	│ - -	26, 603, 637		健全化判断比率			
		増減率 (%)	2. 3		- · · · · ·	^ 1=0 /= 		山振	×	│繰上償還金 -	0 000 771	0	実質赤字比率		_	
		令06.01.01(人)	2, 757, 642	[2	区分		平成27年国調		×	▲ 積立金取崩し額 ■	3, 036, 771	604	連結実質赤字比率		_	
		うち日本人(第	第1次	1, 144		指数表選定	0	┃実質単年度収支 ┃	14, 226, 565	27, 155, 439	実質公債費比率		0. 9	1
住月	R基本台帳人口 (※7)	令05.01.01(人)	2, 741, 587			0.1	0.1			## NF D Lat 1 - 2 - 4 - 2	054 004 700	224 522 252	将来負担比率		_	
	(※1)	うち日本人(_	爭	第2次	211, 891	220, 980			■基準財政収入額 ■	651, 004, 760		資金不足比率(※4)			
		増減率 (%)	0.6	!		20. 7	22. 7			基準財政需要額 	695, 321, 976	671, 265, 509				
		うち日本人(爭	第3次	808, 471	752, 032			標準税収入額等	828, 085, 594	794, 763, 493				
	面積(km²)		225. 34	<u> </u>		79. 1	77. 2			│ 経常経費充当一般財源等 │	864, 269, 815	857, 254, 963				
	密度(人/k㎡)		12, 214	1						歳入一般財源等 -	1, 158, 473, 676	1, 088, 100, 470				
t	帯数(世帯)		1, 469, 718							_						
1				職員の	状況 (※8)											
	区分	定数	1人あたり平均			区分	職員数	給料月額	1人あたり平均	地方債現在高	1, 526, 879, 045	1, 628, 134, 338				
		~~	給料月額(百円)	— 6л.			(人)	(百円)	給料月額(百円)	うち公的資金	189, 244, 127	210, 484, 267				
	市区町村長	1	10, 014		一般職員		20, 815	63, 444, 120	3, 048	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	932, 151, 845	927, 824, 787				
	副市区町村長	3	9, 426	員	うち消	防職員	3, 534	10, 534, 854	2, 981	債務負担行為額 (支出予定額)	347, 580, 035	265, 408, 359				
別 職	教育長	1	8, 163	<u> </u>	うち技	能労務職員	3, 978	11, 261, 718	2, 831	収益事業収入	10, 258, 772	10, 059, 185				
	議会議長	1	9, 500	** 6	教育公務	員	11, 960	40, 007, 836	3, 345	土地開発基金現在高	20, 642, 806	20, 642, 806				
	議会副議長	1	8, 440	_ ~	臨時職員		826	2, 185, 596	2, 646		268, 796, 273	245, 229, 407				
	議会議員	81	7, 740		合計		33, 601	105, 637, 552	3, 144	■ 積立金 減債基金 ■ 現在高	-	-				
					ラスパイレ	/ス指数			98. 8		64, 318, 630	64, 459, 586				
— 舭≤	計等の一覧		車業 4	会計の一	- 皆			公営企業(法適)	の一覧	公営企業(法非適)の一	監	関係する一部事務組	 	地方公社・第	三セクター等一覧	
項番		会計名	項番			会計名		項番	会計名		会計名	項番	組合等名	項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計		(5)	駐車場事	事業会計			(9) 水道事業会計	ŀ	(14) 食肉市場事業会計		(15) 関西広域連合		(22)大阪市高	速電気軌道(株)	
(- /			ν-/					(5) 33.2 7 342.4						()		
(2)	母子父子寡婦福祉貸付	付資金会計	(6)	国民健康	東保険事業会	計		(10) 工業用水道事	工業会計			(16) 大阪府後期高齢	者医療広域連合(一般会計)	(23) (株) 大	阪メトロサービス	
(3)	心身障害者扶養共済	事業会計	(7)	介護保険	 食事業会計			(11)中央卸売市場	事業会計			(17) 大阪府後期高齢 療特別会計)	者医療広域連合(後期高齢者医	(24) 大阪地下	街(株)	
(4)	公債費会計		(8)	後期高齠	鈴者医療事業	会計		(12) 下水道事業会	計			(18) 淀川左岸水防事	務組合	(25) (株) 大	阪メトロアドエラ	
								(13) 港営事業会計	+			(19) 淀川右岸水防事	務組合	(26) TUCK	NAL(株)	
												(20)大和川右岸水防	事務組合	(27) 大阪メト	ロビジネスアソシエイト(株)
												(21)大阪広域環境施	設組合	(28) (株) 交	通電業社	
														(29) 大阪シテ	ィバス(株)	
														(30) (公大)	大阪	
														(31) (地独)大阪市博物館機構		

⁽注釈) ※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補塡債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。 ※2:各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。 ※3:地方公共団体が損失補塡等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。 ※4:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。 ※5:産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。 ※6:個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(一)としている)。 ※7:人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。 ※8:職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位					地方税の	犬況 (単位 千円・		
区分	決算額	構成比	経常一般財源等		区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	804, 353, 305	40. 7	738, 789, 002	79.4	普通税	709, 487, 938	88. 2	23, 692, 437
地方譲与税	6, 112, 177	0.3	6, 112, 177	0.7	法定普通税	709, 487, 938	88. 2	23, 692, 437
利子割交付金	385, 433	0.0	385, 433	0.0	市町村民税	351, 296, 643	43. 7	23, 692, 437
配当割交付金	3, 866, 608	0. 2	3, 866, 608	0.4	個人均等割	4, 754, 248	0.6	-
株式等譲渡所得割交付金	4, 177, 968	0. 2	4, 177, 968	0.4	所得割	231, 206, 806	28. 7	-
分離課税所得割交付金	521, 446	0.0	521, 446	0.1	法人均等割	19, 969, 917	2. 5	_
地方消費税交付金	76, 443, 742	3. 9	76, 443, 742	8. 2	法人税割	95, 365, 672	11. 9	23, 692, 437
ゴルフ場利用税交付金	-	_	_	-	· 固定資産税	324, 853, 144	40. 4	-
特別地方消費税交付金	-	_	_	-	・うち純固定資産税	324, 612, 644	40. 4	-
自動車取得税交付金	85, 123	0.0	85, 123	0.0	軽自動車税	2, 181, 980	0.3	-
軽油引取税交付金	12, 010, 944	0.6	12, 010, 944	1.3	市町村たばこ税	31, 156, 171	3. 9	_
自動車税環境性能割交付金	2, 161, 176	0. 1	2, 161, 176	0. 2	鉱産税	-	· -	-
法人事業税交付金	16, 056, 440	0.8	16, 056, 440	1.7	特別土地保有税	-	-	_
地方特例交付金等	3, 009, 529	0. 2	3, 009, 529	0.3	法定外普通税	-	-	-
地方特例交付金	2, 870, 410	0. 1	2, 870, 410	0.3	目的税	94, 865, 367	11.8	_
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補塡特別交付金	139, 119	0.0	139, 119	0.0	法定目的税	94, 865, 367	11.8	-
地方交付税	45, 700, 755	2. 3	44, 317, 216	4. 8	入湯税	298, 236	0.0	-
普通交付税	44, 317, 216	2. 2	44, 317, 216	4. 8	事業所税	29, 002, 828	3. 6	_
特別交付税	1, 383, 443	0. 1	-	-	都市計画税	65, 564, 303	8. 2	-
震災復興特別交付税	96	0.0	_	-	水利地益税等	-	-	_
(一般財源計)	974, 884, 646	49. 4	907, 936, 804	97. 6	法定外目的税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	652, 011	0.0	652, 011	0. 1	旧法による税	-	-	-
分担金・負担金	5, 450, 321	0. 3	_	-	合計	804, 353, 305	100.0	23, 692, 437
使用料	60, 158, 610	3. 0	13, 666, 112	1.5				
手数料	7, 814, 266	0. 4	_	-	•			
国庫支出金	554, 971, 775	28. 1	-	-	区分	令和5年度		令和4年度
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	_	_	-		99. 5	98. 7	99. 5 98. 7
都道府県支出金	103, 218, 411	5. 2	-	-	│ /o/〉 左・計 巾町付氏祝	99. 1	97. 6	99. 0 97. 6
財産収入	51, 895, 886	2. 6	7, 792, 670	0.8		99. 8	99.6	99. 8 99. 6
寄附金	1, 433, 894	0. 1	_	-		• -		
繰入金	7, 401, 890	0. 4	_	-	公営事業等への繰出		東保険事業:	会計の状況
繰越金	31, 498, 047	1.6	-	-	合計 159, 932, 277	実質収支		_
諸収入	63, 634, 923	3. 2	482, 320	0.1	下水道 24,043,082	再差引収支		-5, 646, 270
地方債	112, 032, 500	5. 7	_	-	· 交通 3,871,578	加入世帯数(世帯	i)	403, 758
うち減収補塡債(特例分)	-	-	_	-	宅地造成 2,551,932	被保険者数(人)		555, 921
うち臨時財政対策債	8, 474, 000	0.4	_	-	市場 2, 172, 725		食税(料)収入	額 98
歳入合計	1, 975, 047, 180	100.0	930, 529, 917	100.0	国民健康保険 35,761,627		支出金	-
(1)					その他 91,531,333	'ヘヨ' し保険	食給付費	348

歳出の状況(単位 千円・%)										
	目的別歳と		(単位 千円・%)							
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建	設事業費	(A)のうち充	当一般財源等				
議会費	2, 172, 981	0.1	_			2, 152, 123				
総務費	118, 026, 393	6. 0		5, 108, 292		105, 278, 581				
民生費	894, 900, 563	45. 9		5, 543, 580		395, 242, 495				
衛生費	105, 595, 653	5. 4	1	, 052, 505		75, 069, 658				
労働費	229, 036	0.0		_		196, 648				
農林水産業費	101, 721	0.0		_		34, 610				
商工費	40, 002, 657	2.0		298, 682		28, 505, 181				
土木費	224, 656, 912	11.5	142	2, 397, 443		77, 884, 818				
消防費	39, 145, 073	2. 0	3	3, 440, 769		36, 886, 349				
教育費	295, 053, 894	15. 1		, 707, 312		205, 318, 549				
災害復旧費	42, 900	0. 0	,	-		900				
公債費	227, 551, 658	11. 7		_		204, 336, 025				
諸支出金	3, 871, 578	0. 2		_		3, 871, 578				
前年度繰上充用金	3, 071, 370	0. 2		_		3, 071, 370				
	1, 951, 351, 019	100.0	220	540 502	1	, 134, 777, 515				
歳出合計	1, 901, 301, 019	100.0	228	9, 548, 583		, 134, 111, 515				
	L	出の状況	(単位 千円・%)							
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充	当一般財源等	経常収支比率				
義務的経費計	1, 224, 507, 979	62. 8	691, 011, 544		84, 927, 300	62. 3				
人件費	297, 405, 165	15. 2	245, 144, 168		243, 509, 677	25. 9				
うち職員給	224, 139, 218	11.5	184, 759, 060	_						
扶助費	699, 880, 718	35. 9	241, 860, 913	1	90, 862, 986	20. 3				
公債費	227, 222, 096	11.6	204, 006, 463		50, 554, 637	16. 0				
	227, 221, 389	11.6	204, 005, 756		50, 553, 930	16. 0				
内ろうち元金	213, 227, 229	10. 9	190, 034, 702		36, 582, 876	14. 5				
訳 うち利子	13, 994, 160	0.7	13, 971, 054		13, 971, 054	1.5				
計 フラ利子 一時借入金利子	707	0.7	707		707	0.0				
	497, 251, 557	25. 5	380, 299, 112		279, 342, 515	29. 7				
その他の経費										
物件費	155, 694, 900	8.0	110, 555, 438		93, 245, 938	9. 9				
維持補修費	24, 988, 262	1.3	20, 499, 095		20, 482, 265	2. 2				
補助費等	152, 857, 811	7.8	122, 419, 179		75, 378, 184	8. 0				
うち一部事務組合負担金	8, 547, 492	0.4	3, 515, 373		3, 286, 092	0. 3				
繰出金	130, 538, 612	6. 7	100, 316, 623		90, 236, 089	9. 6				
積立金	28, 221, 870	1.4	25, 896, 749		_					
投資・出資金・貸付金	4, 950, 102	0.3	612, 028		39	0. 0				
前年度繰上充用金	-	_	_							
投資的経費計	229, 591, 483	11.8	63, 466, 859							
うち人件費	4, 037, 847	0. 2	4, 029, 328							
普通建設事業費	229, 548, 583	11.8	63, 465, 959							
☆ うち補助	117, 627, 470	6.0	7, 728, 328							
ᆝᄭᆝᇰᆂᇕᇄ	109, 546, 962	5.6	55, 561, 480							
訳 災害復旧事業費	42, 900	0.0	900							
失業対策事業費	_	_	_							
歳出合計	1, 951, 351, 019	100.0	1, 134, 777, 515							
-			•							

⁽注釈) 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

令和5年度

大阪府大阪市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考	
1 一般会計	1,980,488	1,957,306	23,183	16,433	8,850	2,105,911		1
2 母子父子寡婦福祉貸付資金会計	649	136	514	_	7	1,988		
3 心身障害者扶養共済事業会計	520	520	_	_	93	-		
4 公債費会計	607,095	607,095	_	_	408,919	-		
5								***
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
計一般会計等(純計)	2,236,182	2,212,486	23,696	16,433		2,107,900		

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

次一般会計寺(純計)は、谷会計(ク作丑同の
公営企業会計等の財政状況(単位:	:百万円)

	会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1	駐車場事業会計	3,039	2,616	422			230			
2	国民健康保険事業会計	301,508	301,508	_	_	39,101	_	_		
3	介護保険事業会計	314,825	314,605	219	219	53,807	_	_		
4	後期高齢者医療事業会計	40,012	37,096	2,916	2,916	9,192	_	_		
5	水道事業会計	62,471	52,957	9,514	38,192	356	96,514	290	_	法適用企業
6	工業用水道事業会計	554	1,005	4 450	3,985	0	108	0	_	法適用企業
7	中央卸売市場事業会計	7,245	7,184	61	9,517	1,120	45,676	6,440	_	法適用企業
8	下水道事業会計	78,276	75,172	3,104	40,425	24,043	444,154	269,602		法適用企業
9	港営事業会計	14,334	10,731	3,603		1	150,558			法適用企業
10	食肉市場事業会計	8,570	8,570			1,053	10,553	8,031		法非適用企業
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19				<u> </u>						
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27	,									
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										通
計	公営企業会計等				95,676		747,793	284,363		

即はする一如東敦紹合学の財政性の(単位・五下田)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
月 関西広域連合	3,541	3,472	69	69	370	33	_	
2 大阪府後期高齢者医療広域連合(一般会計)	230	195	35	35	_	_	_	
3 大阪府後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	1,359,863	1,332,205	27,659	27,659	9,500	_	_	
4 淀川左岸水防事務組合	165	161	4	4	_	_	_	
5 淀川右岸水防事務組合	131	126	5	5	_	_	_	
6 大和川右岸水防事務組合	106	103	3	3	_		_	
7 大阪広域環境施設組合	16,692	16,687	5	_	9,936	18,216	7,942	
8								
9								
0								
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
20								
一部事務組合等				27,774		18,249	7,942	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方	「公社・第三セクター等の経営状況及び ^地	也方公共団体		坐該団体	立:百万円) 当該団体	当該団体	当該団体から	当該団体から	40 A - 1 44	
	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	からの出資金	からの補助金	からの貸付金	の債務保証に 係る債務残高	の損失補償に係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
1	大阪市高速電気軌道(株)	35,685	562,183		1					
2	(株)大阪メトロサービス	166	2,916	50						
3	大阪地下街(株)	863	12,690	40						
4	(株)大阪メトロアドエラ	608		***************************************						
5	TUCKNAL(株)	17								
6 7	大阪メトロビジネスアソシエイト(株) (株)交通電業社	16 54								
8	大阪シティバス(株)	413	-		4,247	_				
9	(公大)大阪	▲ 1,884		***************************************		•				
10	(地独)大阪市博物館機構	0								
11	(地独)大阪産業技術研究所	139	11,947	4,853	1,247	_				
12	(株)大阪城ホール	1,178	9,717	4,505	_	_				
13	(株)大阪市開発公社	258	11,616	302	_	_				
14	(株)大阪鶴見フラワーセンター	50								
15	大阪市商業振興企画(株)	2				_				
16 17	(公財)大阪国際交流センター (公財)関西・大阪二十一世紀協会	▲ 1	20,134							
	アジア太平洋トレードセンター(株)	1,656				15,621		12,997	12,997	
19	(一財)大阪市文化財協会	31				_		. =,	,	
20	(公財)大阪府暴力追放推進センター	A 3	2,037	800	_	_				
21	(一財)アジア・太平洋人権情報センター	▲ 35	375	54	_					
22	関西高速鉄道(株)	3,020	103,516	21,018	1,714	_				
23	中之島高速鉄道(株)	158	23,897	8,712	_	_				
24	大阪外環状鉄道(株)	▲ 883				20,985				
25	西大阪高速鉄道(株)	133				_			- –	
	は株)湊町開発センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19 447						2,587	2,587	
27 28	関西国際空港土地保有(株) (地独)大阪健康安全基盤研究所	18,447 263	•			14,703				
28	(地独)大阪健康安全基盤研究所 (地独)大阪市民病院機構	2,047				·····				
30	(公財)大阪市救急医療事業団	0	***************************************							
	大阪市街地開発(株)	703				2,497		1,541	154	
32	大阪市住宅供給公社	475	11,753	40	22	28,491				
33 🔾	クリスタ長堀(株)	233	▲ 9,154	2,451	282	7,128	***************************************	5,195	5,195	***************************************
34	クリアウォーターOSAKA(株)	163	1,564	200	_					
35	(地独)天王寺動物園	182	6,509	5,492	2,747					
36	大阪港埠頭(株)	341				2,902		•		
37	(株)大阪港トランスポートシステム	350						***************************************		***************************************
38	阪神国際港湾(株) 大阪港埠頭ターミナル(株)	1,120				8,079				
39 40	(株)大阪水道総合サービス	158	-			_				
41	(公財)大阪国際平和センター	0	•			_				
42			.,,, -	-						
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50 51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60									***************************************	
61 62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72 73										
73 74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
				700.000	00.050	107.005		00.000	00.000	
	<mark>b方公社・第三セクター等</mark> 地方公共団体が①25%以上出資している		11-1 : :	788,930		·		22,320	20,933	

公債費負担の状況 将来負担の状況

(単年度)

(3ヵ年平均)

1.8

1.3

実質公債費比率 ((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100

0.7

0.9

公債費負担の状況					将来負担の)状況								
実質公債費比率 (-	f円·%)							;	将来負担比率	(千円•%)				
区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比		区分	令和3年度 令和4年度	令和5年度	分母比	内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比
	85,462,826	85,586,318	84,346,472	10.6	将来負担額	風 一般会計等に係る地方債の現在高	2,360,740,382 2,235,120,66	0 2,107,899,727	265.4	PFI事業に係るもの	_	_	_	
減債基金積立不足算定額	_	_	_	_		債務負担行為に基づく支出予定額	66,267,709 55,728,03	2 43,706,858	5.5	いわゆる五省協定等に係るもの	9,241,293	7,248,913	4,981,887	0. /
 満期一括償還地方債に係る年度割相当額	73,889,994	68,475,675	63,918,435	8.0)	公営企業債等繰入見込額	280,491,430 284,093,42	4 284,362,637	35.8	国営土地改良事業に係るもの	_	-	_	
年 元 公営企業債の元利償還金に対する繰入金	19,393,580	18,811,247	18,614,440	2.3	3	組合等負担等見込額	7,958,677 8,329,86	8 7,942,275	1.0	債 森林総合研究所等が行う事業に係るもの	_	-	_	
利 組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	600,357	359,005	965,645	0.1		退職手当負担見込額	216,729,846 216,488,29	9 225,663,521	28.4	務 負 地方公務員等共済組合に係るもの	_	-	_	
還 債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	11,259,294	11,285,787	12,367,017	1.6	;	設立法人等の負債額等負担見込額	23,831,768 22,085,31	3 20,933,435	2.6	担 依頼土地の買い戻しに係るもの	_	-	_	,
金一時借入金の利子	_	_	_	_		うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担	見込額 –	_	<u> </u>	カ 社会福祉法人の施設建設費に係るもの	_	-	_	
	190,606,051	184,518,032	180,212,009		1	連結実質赤字額	_	_	_	損失補償・債務保証の履行に係るもの	_	_	_	
内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比		組合等連結実質赤字額負担見込額	_	_	_	引き受けた債務の履行に係るもの	_	-	_	
PFI事業に係るもの	_	_	_	_	-	合計	(E) 2,956,019,812 2,821,845,59	6 2,690,508,453		その他上記に準ずるもの	57,026,416	48,479,119	38,724,971	4.
いわゆる五省協定等に係るもの	2,190,907	1,992,380	2,267,026	0.3	充当可能	充当可能基金	908,767,115 932,391,24	1 941,636,197	118.5	下水道事業会計	269,538,198	271,663,505	269,601,601	33.9
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	_	_	_	_	財源等	充当可能特定歳入	819,578,090 855,139,16	7 885,901,075	111.5	食肉市場事業会計	2,128,302	5,150,263	8,031,049	1./
務 地方公務員等共済組合に係るもの	_	_	_	_		基準財政需要額算入見込額	1,365,738,088 1,342,443,96	7 1,316,350,324	165.7	企業債等 繰入見込額 中央卸売市場事業会計	8,619,534	7,081,744	6,440,339	0.
負 社会福祉法人の施設建設費に係るもの	_	_	_	_		合計	(F) 3,094,083,293 3,129,974,37	5 3,143,887,596		水道事業会計	204,930	197,411	289,541	0./
行 損失補償・債務保証の履行に係るもの	_	_	_	_	将来負担比	C率((E)−(F)) / ((C)−(D)) × 100	_	_		その他の会計	466	501	107	0./
高 引き受けた債務の履行に係るもの	_	_	_	_						地方道路公社に係る将来負担額	_	_	_	
その他上記に準ずるもの	9,068,387	9,293,407	10,099,991	1.3	3					公社・土地開発公社に係る将来負担額	_	-	_	
利子補給に係るもの	_	_	_	_		建全化判断比率 令和5年度 早期	朝健全化基準 財政再生基準			三セク等地方独立行政法人に係る将来負担額	_	-	_	
持定財源の額 (B	80,176,771	81,092,104	80,004,153		実質	質赤字比率 -	11.25 20.0	0		その他第三セクター等に係る将来負担額	23,831,768	22,085,313	20,933,435	2.
標準財政規模 (C	899,578,624	872,042,473	889,351,675		連維	結実質赤字比率 -	16.25 30.0	0						
算入公債費等の額(D	99,571,902	97,630,004	94,990,592] 実質	質公債費比率 0.9	25.0 35.	0						
(C)-(D	800,006,722	774,412,469	794,361,083		将ラ	来負担比率 -	400.0	1						
	1				1 —	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-							

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

2, 757, 642 人(R6. 1. 1現在) うち日本人 2, 588, 250 人(R6. 1. 1現在) 225. 34 kΜ^{*} 0.9 1, 975, 047, 180 1, 951, 351, 019 R01 政令市 R02 政令市 R03 政令市 16, 432, 659 R04 政令市 R05 政令市 889, 351, 675 地方債現在高 1,526,879,045

● 当該団体値 ◆ 類似団体内平均値 類似団体内の ▲ 最大値及び最小値

50.0

100.0

150.0

200.0

250.0

91.9

R01

R02

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

- ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
- ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
- ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

0.84

R04

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

0.92

0.83

0.65

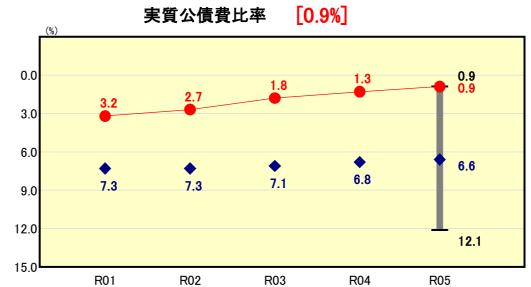
※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレス指数」については、各調査対象年度の 地方公務員給与実態調査に基づいている。

財政力 類似団体内順位 全国平均 大阪府平均 財政力指数 [0.92] 0.48 0.67 財政力指数の分析欄 1.03

本市の財政力指数は0.92~0.94と、他の政令市に比べ高い水準で推移しているが、 地方交付税の交付団体であり、令和5年度は臨時財政対策債(※)による補塡措置が 講じられている。(発行可能額:169億円)

令和5年度の財政力指数は、固定資産税の増などにより基準財政収入額が増となっ ているものの、社会保障関係経費の増などにより基準財政需要額が増となったことから、 前年度と同じ指数となっている。

(※)地方全体の財源不足に対処するため、特例的に発行する地方債であり、償還に 要する費用は後年度の地方交付税算定における基準財政需要額に全額算入される。



将来負担の状況

72.8

R03

公債費負担の状況

67.6

R04

63.0

165.4

R05

将来負担比率 [-%]

大阪府大阪市

大阪府平均

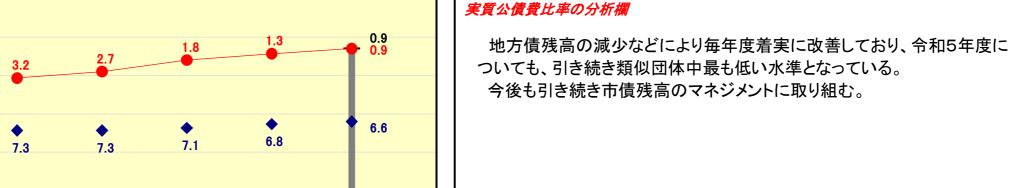


全国平均

この間、地方債残高が着実に減少していることから、令和3年度から令 和5年度は、充当可能財源等が将来負担額を上回ったため、将来負担比 率はない。

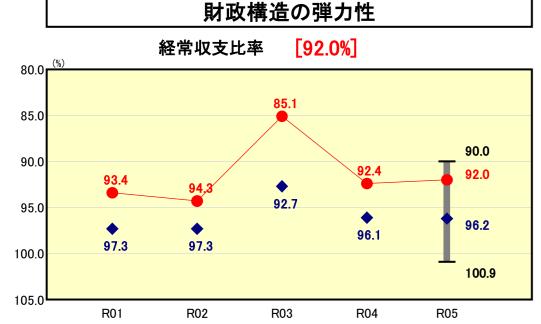
今後も引き続き市債残高のマネジメントに取り組む。

類似団体内順位 全国平均 大阪府平均



令和5年度

類似団体内順位

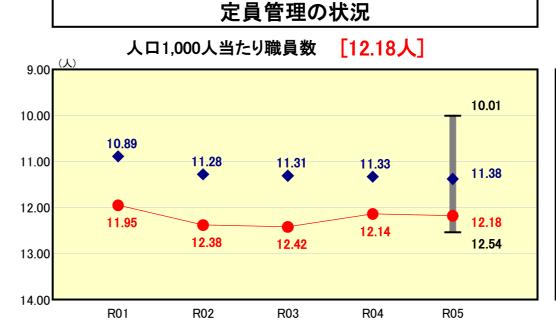


0.70

類似団体内順位 全国平均 大阪府平均 93.1 94.7 3/20

経常収支比率の分析欄

障がい者自立支援給付費などの経常的な扶助費が増となったものの、 地方税などの経常一般財源が増となったことなどにより、前年度決算と比 較して0.4ポイント好転し、引き続き類似団体内平均を大きく下回っている。



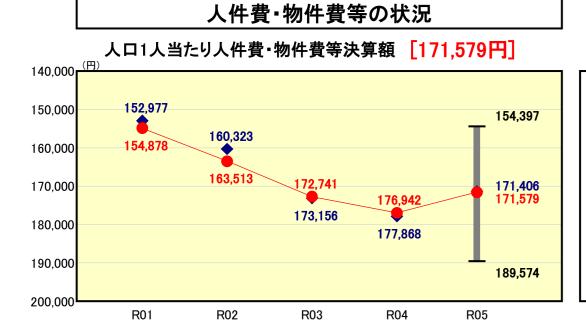


人口1,000人当たり職員数の分析欄

令和5年4月1日の職員数は33,601人(前年比+325人)となっており、人口千人あたり

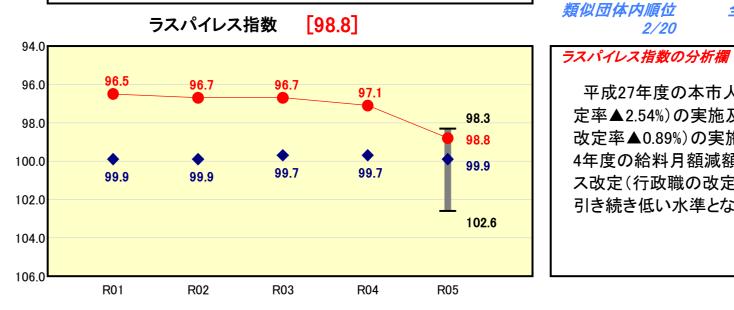
の職員数は昨年と比較して概ね横ばい(+0.04人)となっている。 職員数の主な増要素としては、万博・IRの推進等にかかる臨時的増員や、児童虐待 防止等の推進、働き方改革に伴う長期休業者等の代替措置があげられる。

なお、本市では平成18年度から効果的・効率的な行財政運営をめざして市政改革を 進めてきた結果、人口当たりの職員数は、技能労務職員以外については他都市並み になってきている。引き続き、「民でできることは民で」という考え方のもと、技能労務職 員については、委託化、効率化を図り、削減を行っていく。





この間の市政改革の取組で、施策・事業の見直しに取り組んできており、 一定の成果もあげていることなどから、引き続き類似団体内平均と概ね同 水準となっている。



給与水準 (国との比較)

類似団体内順位 全国市平均 全国町村平均 2/20 98.6

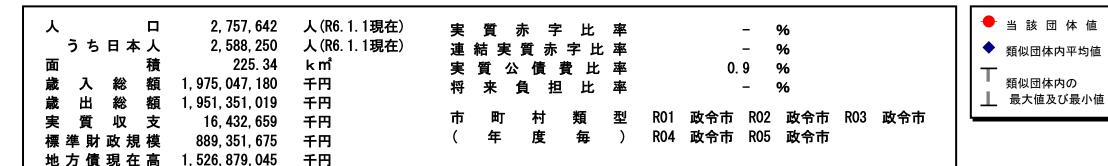
平成27年度の本市人事委員会勧告に基づくマイナス改定(行政職の改 定率▲2.54%)の実施及び給与制度の総合的見直しによる改定(行政職の 改定率▲0.89%)の実施以降、類似団体中最低水準で推移しており、令和 4年度の給料月額減額措置の終了及び本市人事委員会勧告に基づくプラ ス改定(行政職の改定率+1.93%)の実施により、指数が上昇したものの、 引き続き低い水準となっている。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

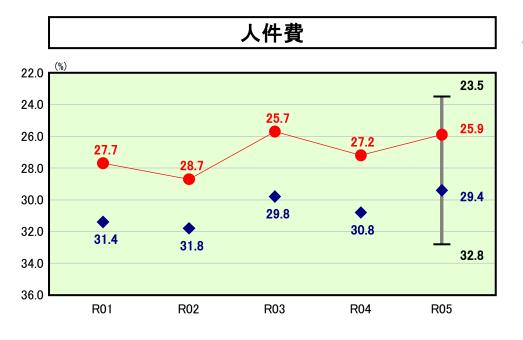
令和5年度

大阪府大阪市

経常収支比率の分析



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

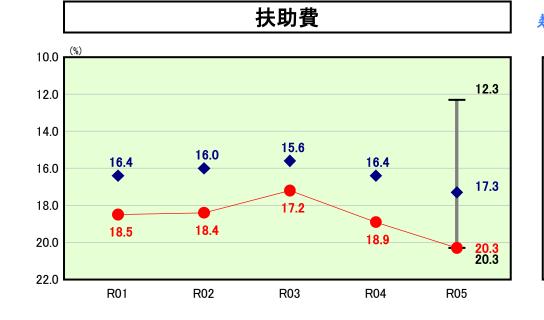


類似団体内順位 全国平均 大阪府平均 25.4

人件費の分析欄

昨年度と比較して1.3ポイント好転している。

なお、「定員管理の状況」と「給与水準(国との比較)」にもあるよ うに、この間職員数の削減に取り組んできたことや、人事委員会 勧告による給与改定の反映、給与制度の総合的な見直しに取り 組んできたことなどにより、人件費にかかる経常収支比率は類似 団体内平均を大きく下回っている。



類似団体内順位 全国平均 大阪府平均 20/20 13.2

扶助費の分析欄

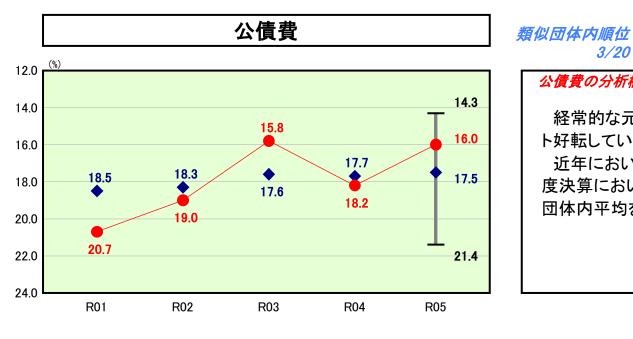
障がい者自立支援給付費や生活保護費が増となったことなど により、昨年度と比較して1.4ポイント悪化している。

18.6

大阪府平均

14.2

引き続き、生活保護の適正実施などに取り組んでいるものの、 類似団体中最も高い水準となっている。



公債費の分析欄

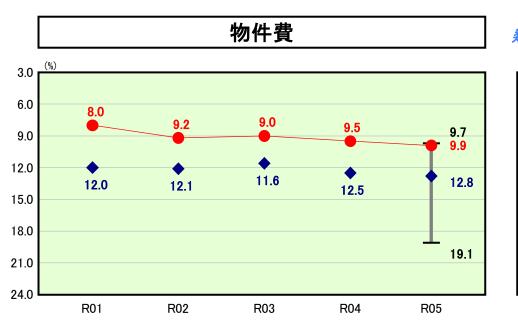
3/20

経常的な元利償還額の減などにより昨年度と比較して2.2ポイン ト好転している。

15.9

全国平均

近年においては、新規発行額を抑制してきたことから、令和5年 度決算において、地方債残高は18年連続して減少しており、類似 団体内平均を大きく下回っている。



類似団体内順位 2/20

全国平均 *15.2* 大阪府平均 13.4

大阪府平均

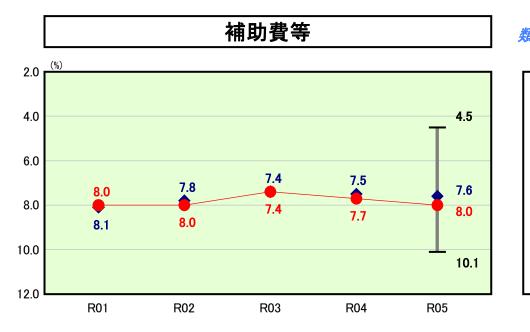
大阪府平均

大阪府平均

80.5

物件費の分析欄

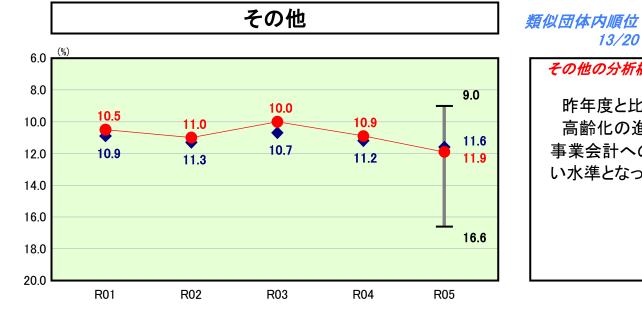
昨年度と比較して概ね横ばい(+0.4ポイント)となっている。 この間の市政改革の取組で、施策・事業の見直しに取り組んで きており、一定の成果をあげたことから、類似団体内平均を大きく 下回っている。



類似団体内順位 全国平均

補助費等の分析欄

昨年度と比較して概ね横ばい(+0.3ポイント)となっている。 平成18年度に策定した「補助金等のあり方に関するガイドライ ン」に基づき、引き続き不断の見直しによる補助金の適正化を進 めるなど更なる削減に努めている。

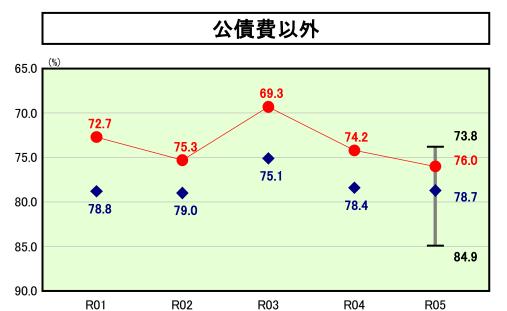


その他の分析欄

昨年度と比較して1.0ポイント悪化している。

高齢化の進展に伴い、介護保険事業会計及び後期高齢者医療 事業会計への繰出金が増加傾向にあり、類似団体内平均より高 い水準となっている。

全国平均



7/20 公債費以外の分析欄

類似団体内順位

昨年度と比較して1.8ポイント悪化している。

物件費にかかる経常収支比率が類似団体内平均との比較で低 い水準にあることなどから、令和5年度決算において、類似団体 内平均を下回っている。

全国平均

77.2

類似団体内の

▲ 8, 973, 545 300, 575, 235

1, 336

4. 3

▲ 3, 217 104, 553

▲ 3, 254 108, 997

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用 当該団体決算額 人口1人当たり決算額 当該団体 (円) 類似団体平均(円) (千円) 対比 (%) 人件費 一部事務組合負担金(補助費等) 公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等) 297, 405, 165 1, 934, 345 574. 0 626, 286 227 1.054 **▲** 78.5 公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金) 公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金) 5, 545, 137 2, 011 4.8 1, 918 1, 464 事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費) 4, 037, 847 9. 6

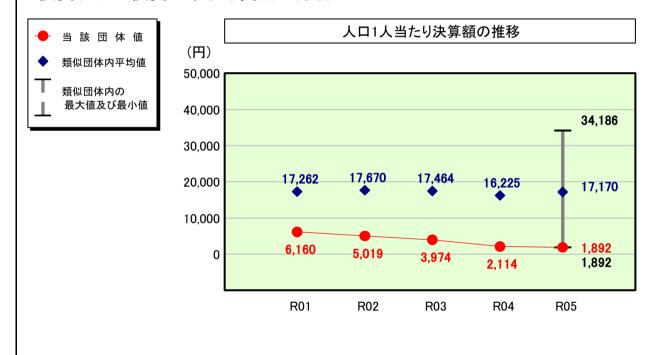
参考

▲退職金

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	12. 18	11. 38	0.80
ラスパイレス指数	98. 8	99. 9	▲ 1.1

(注)人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

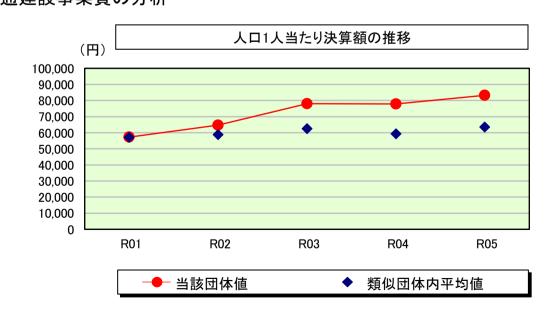
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



_公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

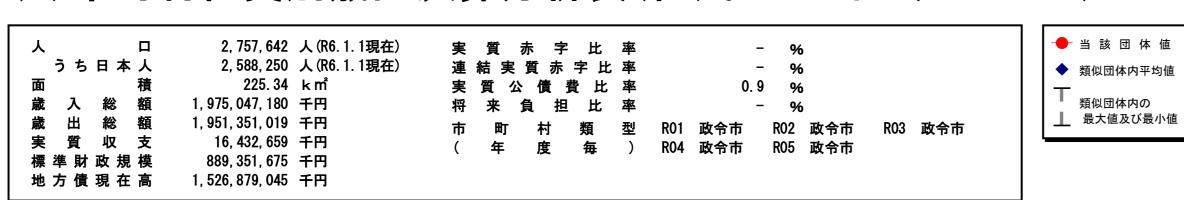
	当該団体決算額		人口1人当たり決算額	額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	84, 346, 472	30, 586	30, 018	1. 9
積立不足額を考慮して算定した額	-	ı	2, 237	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	63, 918, 435	23, 179	21, 851	6. 1
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	18, 614, 440	6, 750	9, 810	▲ 31.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	965, 645	350	148	136. 5
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	12, 367, 017	4, 485	1, 410	218. 1
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	0	-
▲特定財源の額	▲ 80, 004, 153	▲ 29, 012	▲ 17, 155	69. 1
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 94, 990, 592	▲ 34, 446	·	10. 6
合計	5, 217, 264	1, 892	17, 170	▲ 89.0

(参考) 普通建設事業費の分析

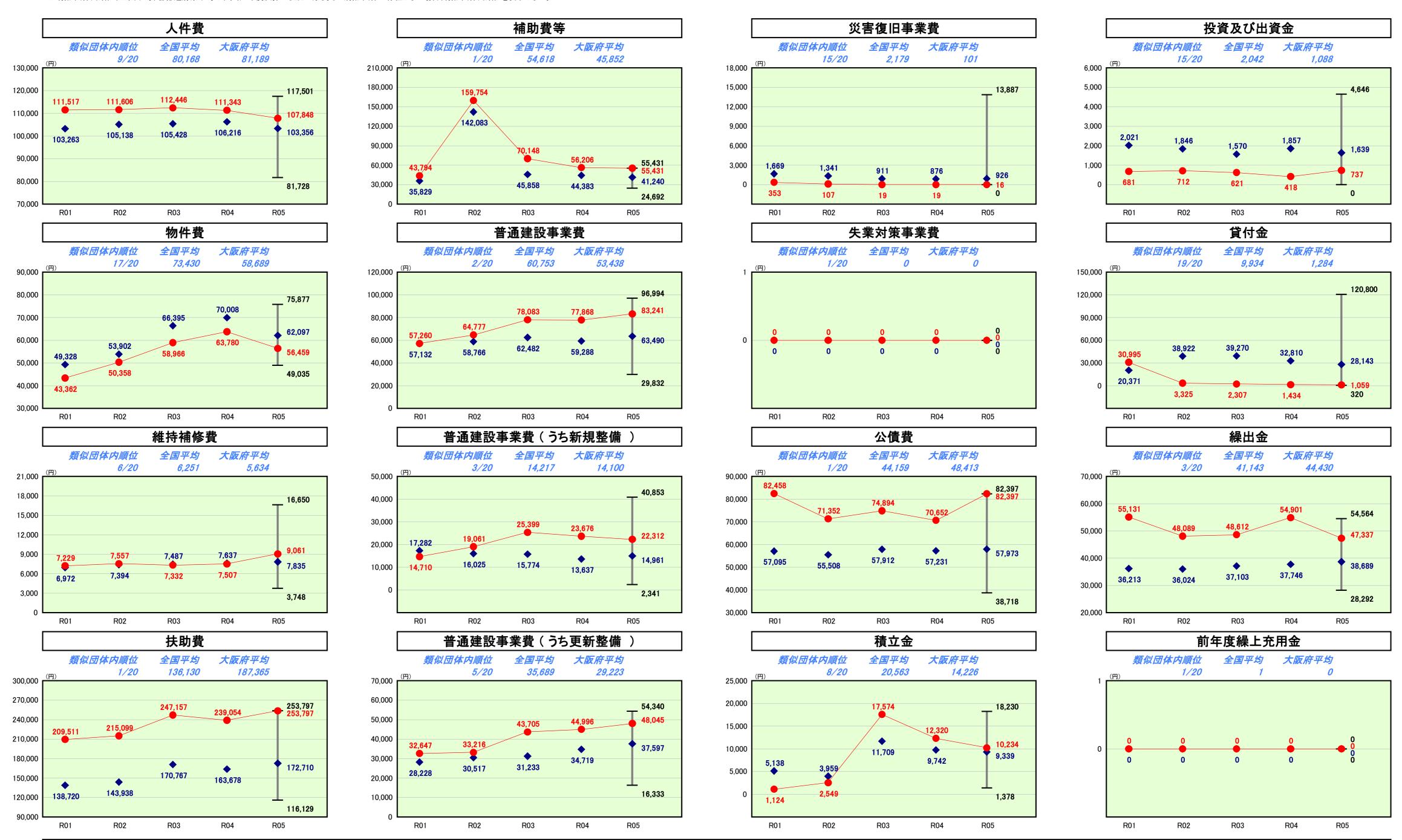


普通建設事業費

		当該団体決算額		人	ロ1人当たり決算額	Į	
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) - (B)
R01		156, 343, 461	57, 260	27. 9	57, 132	4. 0	23. 9 22. 8
	うち単独分	65, 289, 022	23, 912	25. 6	30, 126	2. 8	
R02		177, 486, 388		13. 1	58, 766	2. 9	10. 2
	うち単独分	75, 309, 158	27, 485	14. 9	29, 363	▲ 2.5	17. 4
R03		213, 337, 472	78, 083	20. 5	62, 482	6. 3	14. 2
	うち単独分	92, 886, 795	33, 997	23. 7	34, 626	17. 9	5. 8
R04		213, 480, 560	77, 868	▲ 0.3	59, 288	▲ 5. 1	4. 8
	うち単独分	96, 435, 005	35, 175	3. 5	32, 670	▲ 5. 6	9. 1
R05		229, 548, 583	83, 241	6. 9	63, 490	7. 1	▲ 0.2
	うち単独分	109, 546, 962	39, 725	12. 9	35, 347	8. 2	4. 7
過去5年間平均		198, 039, 293	72, 246	13. 6	60, 232	3. 0	10. 6
	うち単独分	87, 893, 388	32, 059	16. 1	32, 426	4. 2	11. 9



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

本市における主な構成費目は、人件費・扶助費・公債費であり、中でも扶助費及び公債費は、類似団体と比較して住民一人当たりコストが高い状況となっている

人件費については、定年引上げに伴う退職金の減などにより減少している。

扶助費については、物価高騰対応重点支援給付金や障がい者自立支援給付費の増などにより増加している。

また、公債費については、元金償還額の増などにより増加している。

そのほか、繰出金は、阿倍野再開発事業に係る公債償還のための繰出金の減、物件費は、新型コロナウイルスワクチン接種事業の減などにより減少している一方、普通建設事業費は、新大学キャンパス整備事業の増などにより増加している。



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析欄

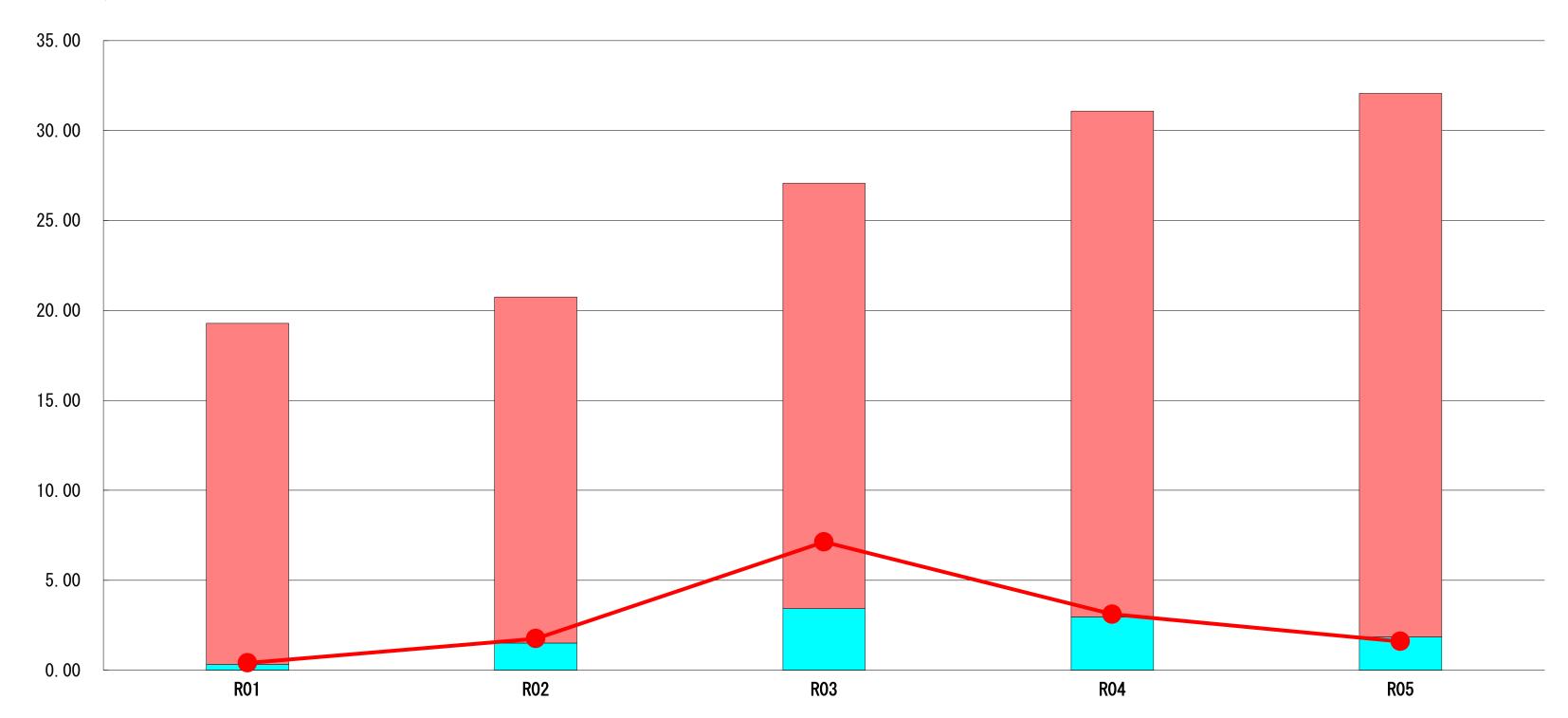
- 民生費、教育費及び公債費において、類似団体と比較して住民一人当たりコストが高い状況となっている。
- 民生費については、物価高騰対応重点支援給付金や障がい者自立支援給付費の増などにより増加している。
- 教育費については、新大学キャンパス整備事業の増などにより増加している。
- 公債費については、元金償還額の増などにより増加している。
- そのほか、衛生費については、新型コロナウイルス感染症対策関係経費の減などにより減少している。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

令和5年度

大阪府大阪市

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

区分	R01	R02	R03	R04	R05
財政調整基金残高	18. 97	19. 24	23. 65	28. 12	30. 22
実質収支額	0. 31	1. 51	3. 42	2. 96	1. 85
一 実質単年度収支	0. 40	1. 75	7. 13	3. 11	1. 60

分析欄

令和5年度決算について、歳入は、地方税が固定資産税・都市計画税や個人市民税の増などにより増となり、2年連続で過去最高を更新したほか、不用地等売却代の増などにより財産収入などが増となっている。歳出は、阿倍野再開発事業に係る公債償還のための繰出金の減や、定年引上げに伴う退職金の減などによる人件費の減などがあるものの、物価高騰対応重点支援給付金や障がい者自立支援給付費などの増に伴う扶助費の増に加え、公債費などが増となっている。

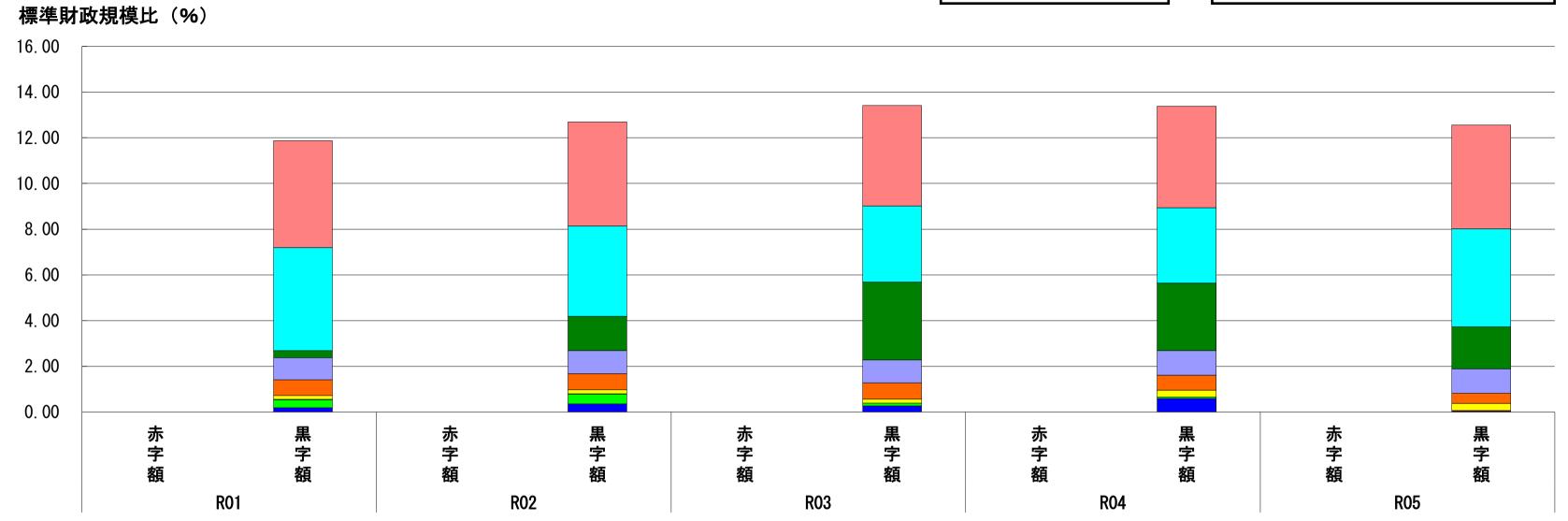
実質収支については164億円の剰余となり、標準財政規模に占める割合は1.85%となっている。

財政調整基金残高は、前年度決算剰余金の積立等に伴い増加し、標準財政規模に占める割合は30.22%となっている。また、収支改善に伴い財政調整基金の取崩しを中止等していることから、実質単年度収支も令和元年度以降、黒字である。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

令和5年度

大阪府大阪市



標準財政規模比(%)

年度 会計	R01	R02	R03	R04	R05	
下水道事業会計	4. 67	4. 55	4. 40	4. 44	4. 54	
水道事業会計	4. 51	3. 95	3. 33	3. 30	4. 29	
一般会計	0. 31	1. 50	3. 42	2. 95	1. 84	
中央卸売市場事業会計	0. 97	1. 01	1. 00	1. 08	1. 07	
工業用水道事業会計	0. 69	0. 70	0. 70	0. 66	0. 44	
後期高齢者医療事業会計	0. 17	0. 18	0. 18	0. 30	0. 32	
駐車場事業会計	0. 02	0. 01	0. 00	0. 00	0. 04	
介護保険事業会計	0. 34	0. 44	0. 13	0. 06	0. 02	
その他会計(赤字)	_	_	_	_	_	
その他会計 (黒字)	0. 19	0. 35	0. 26	0. 59	0. 00	

分析欄

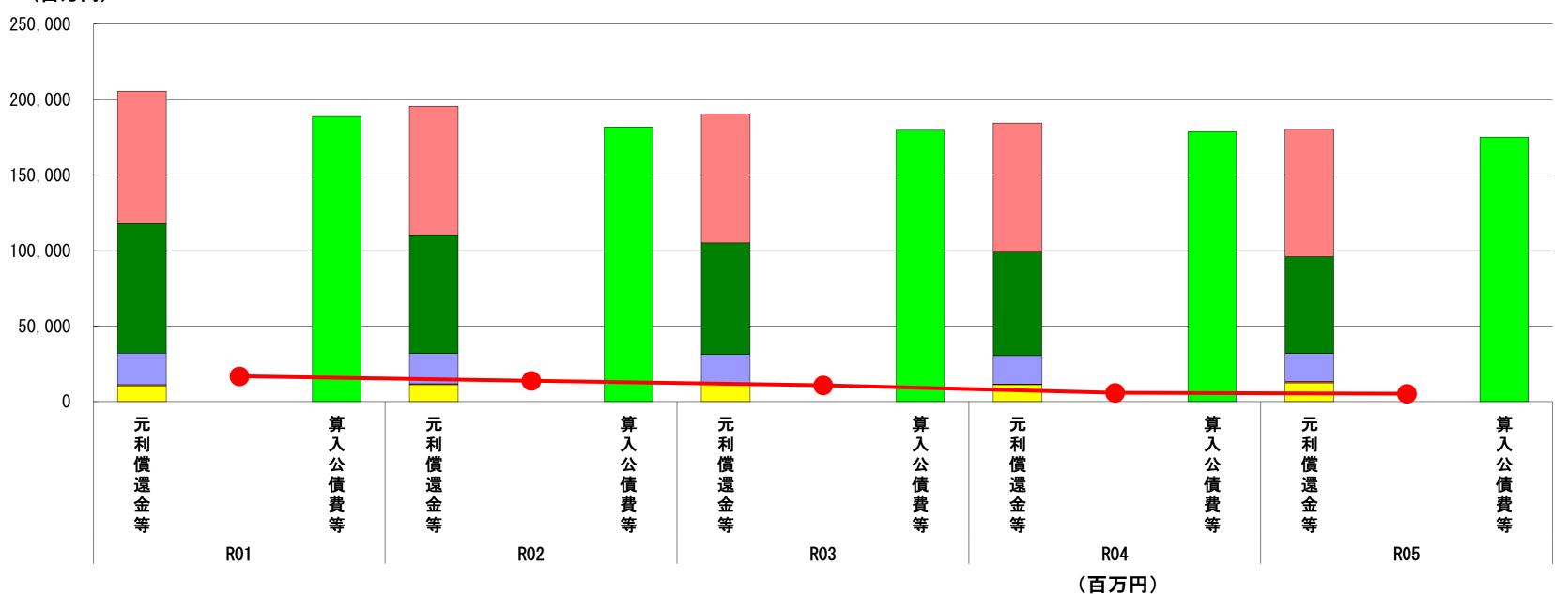
令和5年度決算においても、全ての会計において黒字や資金剰余となった ため、連結実質赤字比率はない。

(9) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

令和5年度

大阪府大阪市

(百万円)



							(П/)
分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
		元利償還金	87, 690	85, 236	85, 463	85, 586	84, 346
		減債基金積立不足算定額※2	1	1	-	_	_
		満期一括償還地方債に係る年度割相当額	85, 856	78, 418	73, 890	68, 476	63, 918
元利償還金等(A)		公営企業債の元利償還金に対する繰入金	20, 839	20, 211	19, 394	18, 811	18, 614
		組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	844	644	600	359	966
		債務負担行為に基づく支出額	10, 345	11, 126	11, 259	11, 286	12, 367
		一時借入金の利子	-	-	_	-	_
算入公債費等(B)		算入公債費等	188, 754	181, 883	179, 749	178, 722	174, 994
(A) - (B)	-	実質公債費比率の分子	16, 820	13, 752	10, 857	5, 796	5, 217

分析欄

地方債残高の減少などにより毎年度着実に減少し ている。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) ×(1 - (D)/(E))

(参考)						(百万円)
	年度	R01	R02	R03	R04	R05
減信甘仝	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額(C)	102, 277	83, 093	55, 272	69, 276	76, 638
	前年度末減債基金残高(D)	650, 352	623, 985	576, 027	557, 468	566, 855
	前年度末減債基金積立相当額(E)	459, 322	441, 810	425, 206	429, 613	427, 313

分析欄

本市ルールに則り、確実に積み立てており、積立不 足はない。

減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

⁽注)減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

(10) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

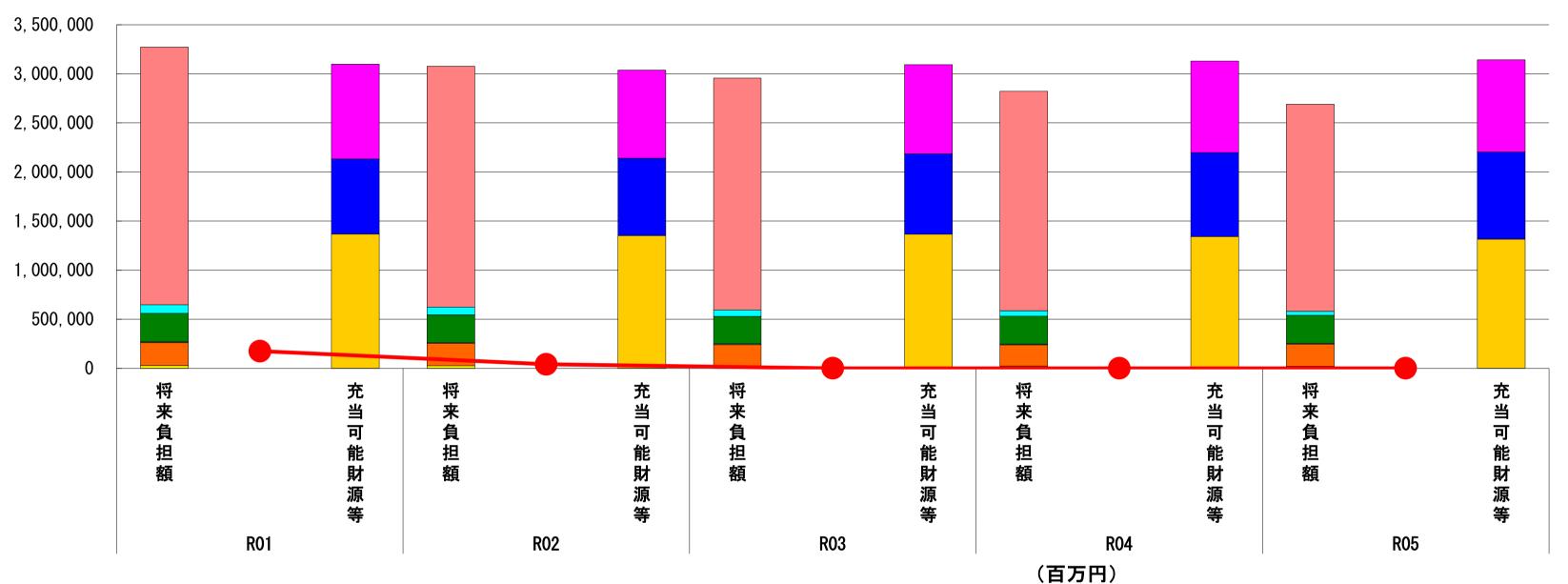
将来負担比率の分子

令和5年度

大阪府大阪市

(百万円)

(A) - (B)



年度 R04 R05 R01 R02 R03 分子の構造 一般会計等に係る地方債の現在高 2, 625, 777 2, 454, 823 2, 360, 740 2, 235, 121 2, 107, 900 債務負担行為に基づく支出予定額 88, 277 66, 268 55, 728 43, 707 77, 408 公営企業債等繰入見込額 289, 885 282, 245 280, 491 284, 093 284, 363 組合等負担等見込額 7, 959 8,091 8, 515 8, 330 7, 942 216, 730 225, 664 退職手当負担見込額 234, 245 229, 242 216, 488

将来負担額(A) 設立法人等の負債額等負担見込額 27. 323 25. 578 23, 832 22, 085 20.933 うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額 連結実質赤字額 組合等連結実質赤字額負担見込額 充当可能基金 966, 191 897, 658 908, 767 932, 391 941, 636 充当可能財源等(B) 充当可能特定歳入 761.513 786, 137 819, 578 855, 139 885, 901 1, 365, 738 基準財政需要額算入見込額 1, 370, 027 1, 353, 105 1, 342, 444 1, 316, 350

175, 868

分析欄

この間の地方債残高の減少などにより、将来負担額 が減少している。

その結果、令和3年度から令和5年度は充当可能財源 等が将来負担額を上回り、マイナスとなっている。

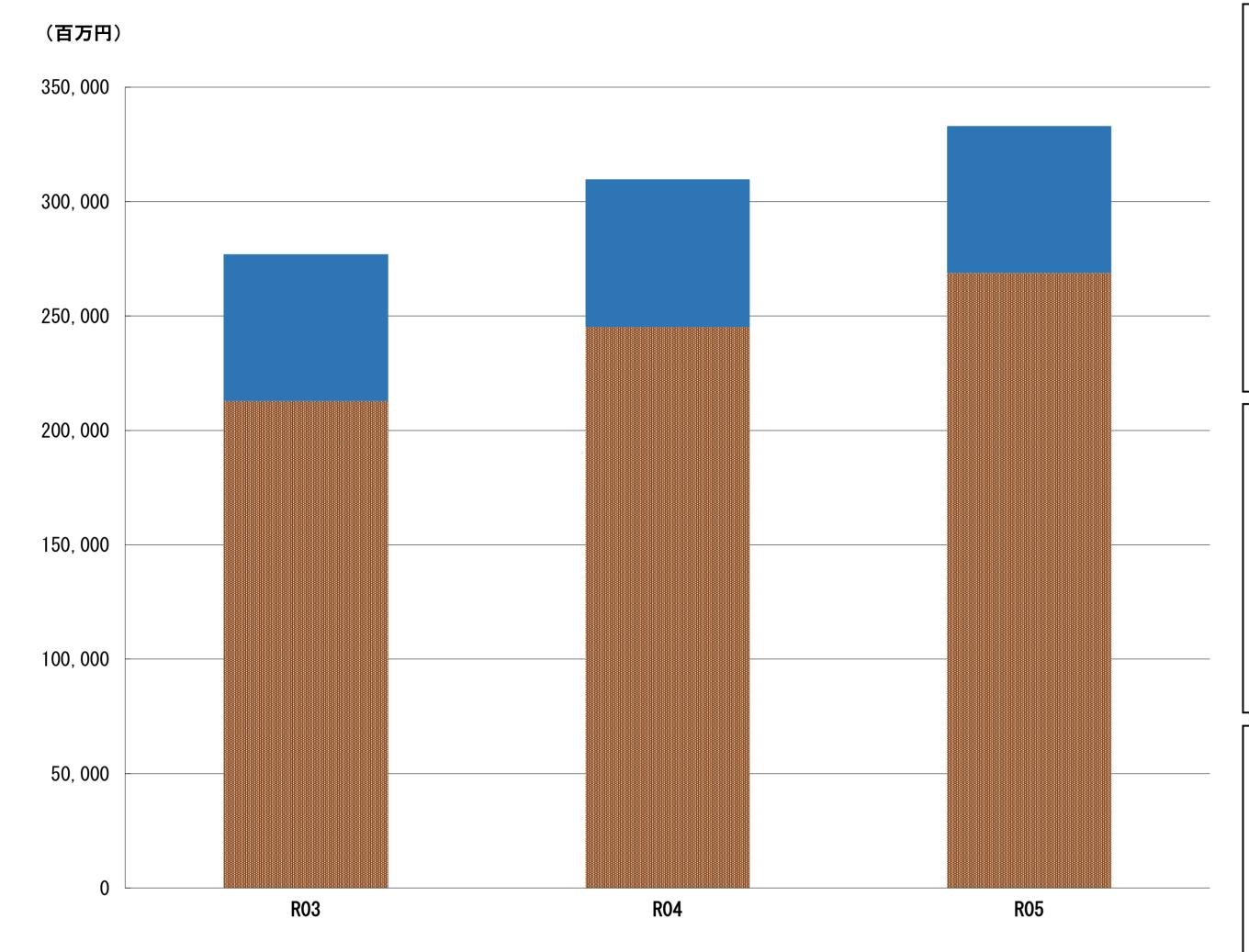
138, 063

▲ 308, 129

453, 379

40, 910

(11) 基金残高(東日本大震災分を含む)に係る経年分析(市町村)



				(百万円)
区分	年度	R03	R04	R05
	財政調整基金	212, 731	245, 229	268, 796
	減債基金	I	l	l
	その他特定目的基金	64, 328	64, 460	64, 319
	教育振興基金	22, 554	22, 574	22, 659
	交通政策基金	19, 394	19, 375	19, 377
	都市整備事業基金	8, 525	8, 030	7, 578
	土地区画整理事業基金	2, 267	2, 211	1, 996
	地域活性化事業基金	1, 520	1, 531	1, 527
	基金残高合計	277, 058	309, 689	333, 115

令和5年度 大阪府大阪市

基金全体

(増減理由)

令和5年度末の基金残高は、3,331億円となっており、前年度から234億円の増となっている。 これは、財政調整基金で236億円の増となったことなどによるものである。

(今後の方針)

財政調整基金については、経済事情の著しい変動等により財源が著しく不足する場合や、災害発生への対応など、財政上の備えとして引き続き 適切に管理していく。なお、その他特定目的基金の教育振興基金においては、高度経済成長期に建設した学校校舎の老朽改築等の対策費が多額に 見込まれるなど、計画的な残高管理が必要と考えている。

財政調整基金

(増減理由)

財政運営の透明性や財政規律を一層確保する観点から、年度間の財源調整状況をより明確化するため、平成24年度に基金を設置しており、令和 5年度末の基金残高は、2,688億円となっている。

令和5年度においては、令和4年度決算剰余金(258億円)等を積み立てたことなどにより、残高が236億円増加した。

(今後の方針)

経済事情の著しい変動等により財源が著しく不足する場合や、災害発生への対応など、財政上の備えとして引き続き適切に管理していく。

減債基金

(増減理由)

(今後の方針)

_

その他特定目的基金

(基金の使途)

: 学校教育及び社会教育の振興を図る事業の資金に充てる。

教育振興基金 : 学校教育及び社会教育の振興を図る事 交通政策基金 : 交通政策の推進を図る資金に充てる。

都市整備事業基金 : 都市施設の整備を目的とする事業を促進する経費に充てる。

土地区画整理事業基金:土地区画整理事業の各施行地区における事業の施工の費用、土地区画整理法第102条第1項の規定による仮清 金の交付に要する費用、法第110条第1項の規定による清算金の交付に要する費用及び、清算金の交付のために

起こした本市公債の償還の財源に充てる。

地域活性化事業基金 : モーターボート競走に係る勝舟投票券の場外発売場の所在地に属する区における地域の活性化を目的とする事業

の推進を図る資金に充てる。

(増減理由)

都市整備事業基金 : 公園事業などに充てるため 5 億円を取り崩した結果、 5 億円の減となっている。 青少年活動振興基金 : 青少年活動の振興に対する寄附金 3 億円を積み立てた結果、 3 億円の増となっている。

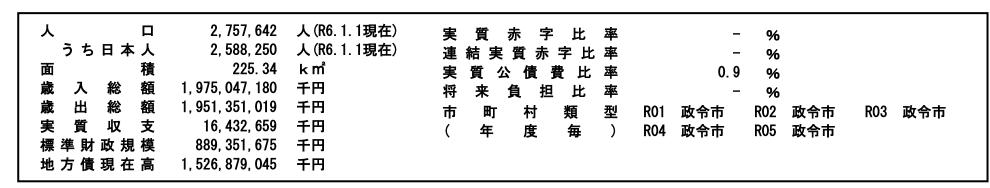
(今後の方針)

教育振興基金については、高度経済成長期に建設した学校校舎の老朽改築等の対策費が多額に見込まれるなど、計画的な残高管理が必要 と考えている。

(12)市町村公会計指標分析/財政指標組合せ分析表

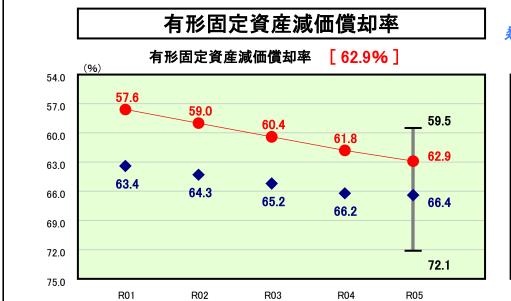
令和5年度

大阪府大阪市



🛑 当 該 団 体 値 ◆ 類似団体内平均値 T 類似団体内の ▮ 最大値及び最小値

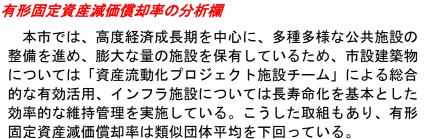
- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。

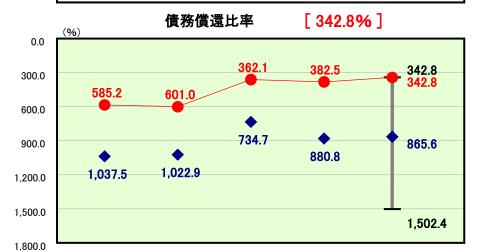


類似団体内順位 4/20

全国平均







R03

(参考)債務償還比率

類似団体内順位

全国平均

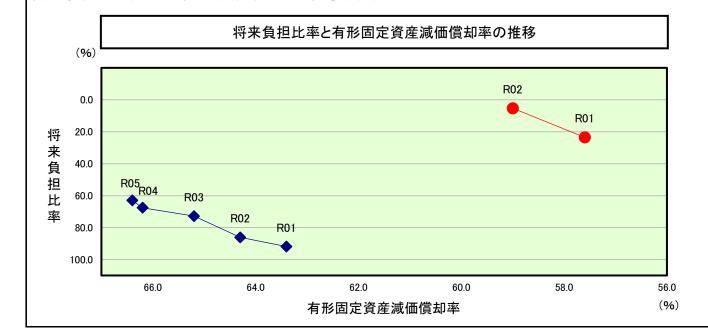
大阪府平均 444.2

債務償還比率の分析欄

1/20

地方債残高の減少や、職員数の削減、施策・事業の見直し等 により、債務償還比率は類似団体平均を下回っている。

将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



令和5年度については、将来負担比率は充当可能財源等が将来負担額を上回り、比率なしとなっている。

R01

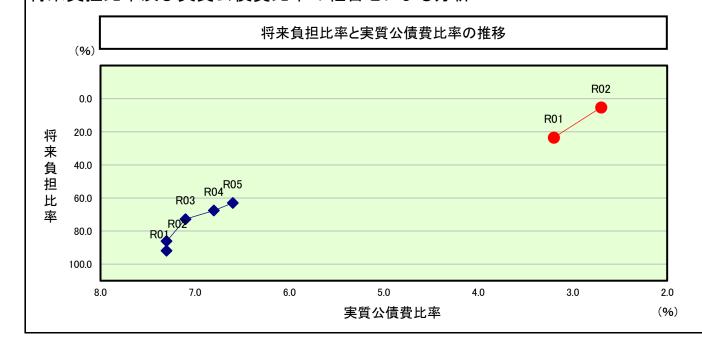
R02

また、本市では、高度経済成長期を中心に、多種多様な公共施設の整備を進め、膨大な量の施設を保有しているため、市設建築物については「資産流動化プロジェクト施設チーム」による総合的な有効 活用、インフラ施設については長寿命化を基本とした効率的な維持管理を実施している。こうした取組もあり、有形固定資産減価償却率は類似団体平均を下回っている。

(参者)

<i>、</i> 変力							
		R01	R02	R03	R04	R05	
当該団体値	将来負担比率	23.5	5.3	_	-	_	
当該凹体値	有形固定資産減価償却率	57.6	59.0	59.0 60.4 61.8	61.8	62.9	
*************************************	将来負担比率	91.9	86.1	72.8	67.6	63.0	
類似団体内平均値	有形固定資産減価償却率	63.4	64.3	65.2	66.2	66.4	

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析

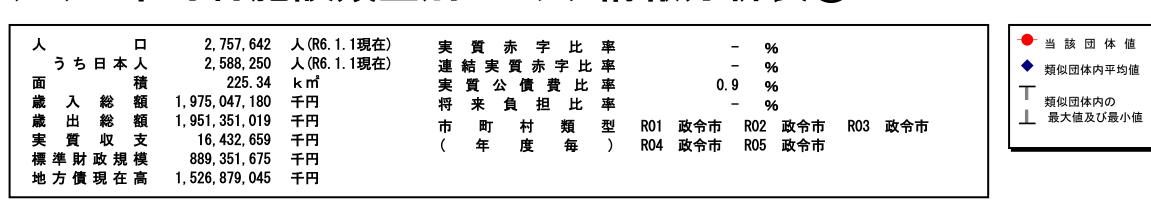


分析欄

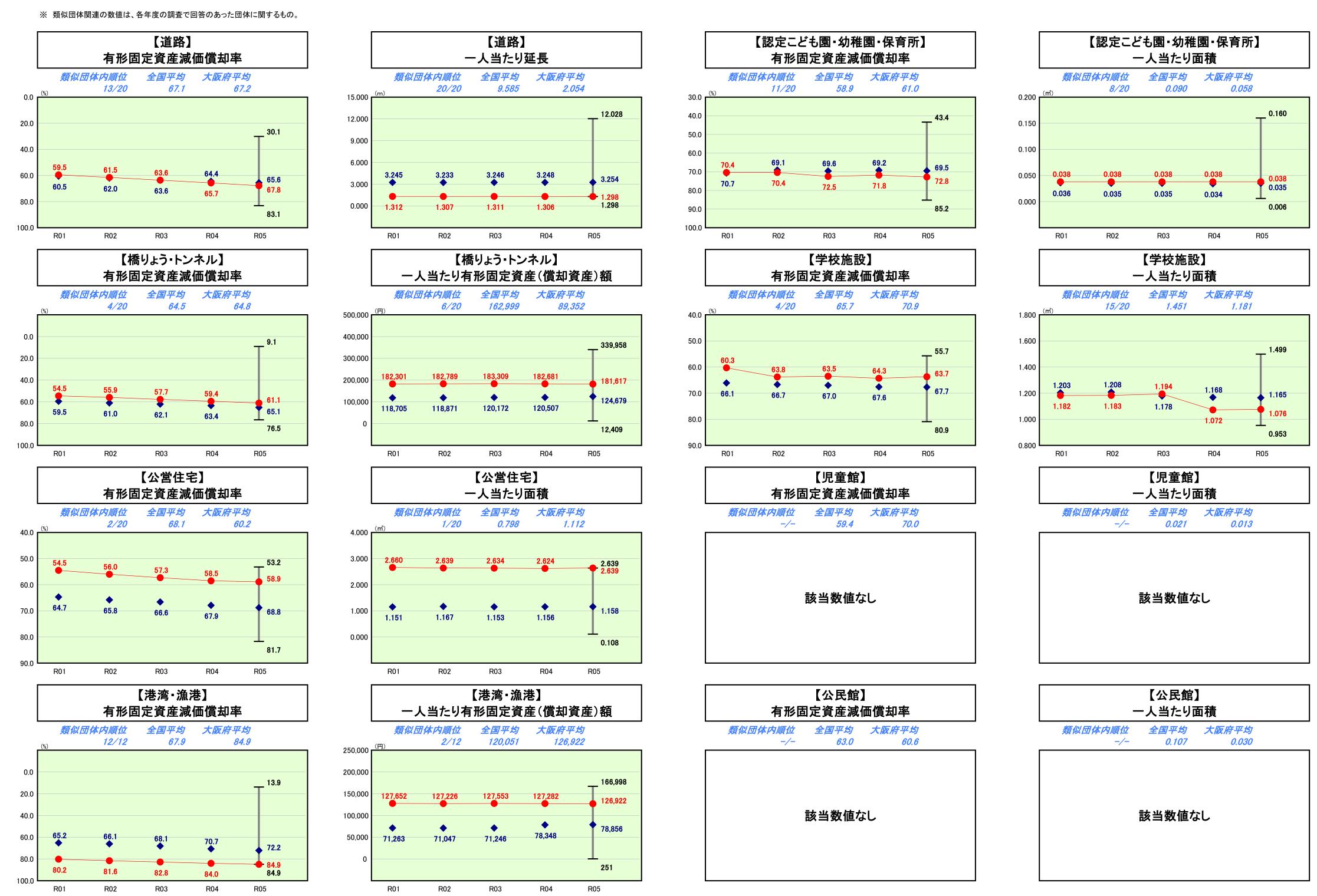
- 令和5年度については、将来負担比率は充当可能財源等が将来負担額を上回り、比率なしとなっており、実質公債費比率は地方債残高の減少などにより毎年度着実に改善しており、引き続き類似団体 | 平均を下回っている。

(参考)

		R01	R02	R03	R04	R05
当該団体値	将来負担比率	23.5	5.3	_	-	-
当該四件値	実質公債費比率	3.2 2.7 1.8 1.3	1.3	0.9		
類似団体内平均値	将来負担比率	91.9	86.1	72.8	67.6	63.0
投队 团体的干均但	実質公債費比率	7.3	7.3	7.1	6.8	6.6



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



施設情報の分析欄

本市では、高度成長期を中心に、多種多様な公共施設の整備を進め、膨大な量の施設を保有しているため、市設建築物については「資産流動化プロジェクト施設チーム」による総合的な有効活用、インフラ施設については長寿命化を基本とした効率的な維持管理を実施している。こうした取組 もあり、有形固定資産減価償却率は類似団体平均を下回っている。

その中でも、公営住宅については、「大阪市営住宅ストック総合活用計画」(当初策定:平成13年11月)に基づき、事業費・事業量の平準化を図りながら、公営住宅法上の耐用年限を超過しないよう計画的に建替事業を進めていることから、有形固定資産減価償却率が低くなっているものと考えられる。一方で、港湾施設については、老朽化が進み、供用年数が耐用年数を超える施設が約4割を占めていることから有形固定資産減価償却率が高くなっているが、「大阪港インフラ長寿命化計画」(平成29年7月策定)に基づき、効率的かつ効果的な維持管理を推進する。 今後も市設建築物およびインフラ施設については、「大阪市公共施設マネジメント基本方針(第2期計画)」(令和7年3月策定)に沿って、規模の最適化、予防保全による長寿命化、多様なコスト縮減手法の導入に取り組む。



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



施設情報の分析欄

本市では、高度成長期を中心に、多種多様な公共施設の整備を進め、膨大な量の施設を保有しているため、市設建築物については「資産流動化プロジェクト施設チーム」による総合的な有効活用、インフラ施設については長寿命化を基本とした効率的な維持管理を実施している。こうした取組 もあり、有形固定資産減価償却率は類似団体平均を下回っている。

なお、一般廃棄物処理施設については、供用年数が耐用年数を超える施設が約1割を占めるなど老朽化が進み、有形固定資産減価償却率が高くなっているものと考えられるが、大阪広域環境施設組合による「一般廃棄物処理基本計画」(令和2年3月策定)に基づき老朽化したごみ焼却工場を 順次更新していく。

今後も市設建築物およびインフラ施設については、「大阪市公共施設マネジメント基本方針(第2期計画)」(令和7年3月策定)に沿って、規模の最適化、予防保全による長寿命化、多様なコスト縮減手法の導入に取り組む。